

アレルギー疾患 都道府県拠点病院モデル事業

熊本大学病院



①アレルギー疾患患者や家族に対する相談対応

あなたの心配・不安にこたえます！
くもと **アレルギー相談室**
@熊本県アレルギー疾患対策拠点病院

アトピー性皮膚炎 | じんましん | アレルギー性結膜炎 | アレルギー性鼻炎 | 食物アレルギー | ぜんそく

アレルギーって何？ | よくある質問 | **医療従事者・教育関係者向け** | 公式Twitter

医療従事者・教育関係者向け

こちらのページでは、医療関係者（医師、薬剤師、看護師、保健師等）および教育関係者（学校教諭、幼稚園教諭、保育士、栄養士等）を対象に、アレルギー対策関連のご質問を募りQ&Aにまとめた情報を提供致します。掲載する情報は、一般の方に対する情報提供を目的としたものではないことをご了承ください。

※頂きましたご質問は精査の上、回答させていただきます。
頂いたご質問全てを掲載出来ない場合がございますことご了承下さい。

Q Q&A

アレルギーに関して頂いたご質問をQ&A形式でまとめています。

準備中

お問い合わせ

アレルギーに関するご相談等ございましたらこちらよりお気軽にお問い合わせください。頂いたご質問はQ&Aにてご回答差し上げます。

CLICK

Q Q&A

医療従事者・教育関係者の方向けQ&A

Q 0歳児のアレルギー検査はできるのでしょうか。（保健師 20代）
息子が全身に蕁麻疹が出て、救急外来を受診し、アナフィラキシーと言われたが、まだ小さいからアレルギー検査はできない、様子を見ましようと言われたそうです。また、熊本ではアレルギー検査や試験をあまりしないとも聞きました。地域や病院により、診断の方法が違うのでしょうか。

A お母さまにご不安があれば、かかりつけの小児科受診をお勧めください。必要に応じて検査の可否や専門医への受診を検討されます。救急外来で行うのは一時的な処置までです。食物アレルギーの診断は問診が重要です。蕁麻疹だけが症状であれば食物以外が原因となる


①メールにて相談受付
(医療・教育関係者のみを対象としています)

②web上で回答
(どなたでも閲覧できます)

②地域の医師に対するアレルギー疾患研修会の実施

<熊本アレルギー症例検討会>

- 呼吸器内科、皮膚科、耳鼻科、眼科、小児科の当番制で主催
- テーマとして日常診療にて遭遇する「よくある症例」を取り上げる
- 3か月ごとに開催
- web開催とし、県内全域からの参加を可能とした。
- 会員登録数：217名

日時	テーマ	内容	参加数
第1回	小児の食物アレルギー	1. ナッツアレルギー 2. 乳児の鶏卵アレルギー	48名
第2回	小麦アレルギー	1. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 2. 加水分解コムギによる小麦アレルギー	85名
第3回	他科との連携	「他科の先生に聞きたい、アレルギーのアレコレ」	58名
			
第6回	特異的IgEの使い方	皮膚科における特異的IgEの使い方	87名

②地域の医師に対するアレルギー疾患研修会の実施

- 開催案内はメールにてお知らせ
 - ・ 質問もメールにて受け付けます。

第1回

熊本アレルギー症例検討会のご案内

2020年7月30日(木) 19時～オンラインで開催

平素よりアレルギー疾患の診療とアレルギー疾患医療連絡協議会へのご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

ご存じのとおり、日本国民の2人に1人が何らかのアレルギー疾患を患っているとされており、たとえば、ダニアレルギーは喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎を発生し、花粉症の患者さんの中には果物や野菜のアレルギーを合併する症例がみられます。さらにアトピー性皮膚炎の乳児のほとんどが腸管への感作を有するなど、私どもアレルギー診療に関わる医師は、全身、多臓器の理解が不可欠とされております。

ところで、2014年に「アレルギー疾患対策基本法」が公布され、「アレルギー疾患を有する者が、その居住する地域にかかわらず等しく科学的知見に基づく適切なアレルギー疾患医療を受けることができ、国民がアレルギー疾患に関し、適切な情報を入手することができる」という基本理念のもと、医療体制の整備が進められています。

熊本県では、熊本大学病院が熊本県アレルギー疾患拠点病院に指定され、関連施設とともに、全身多岐にわたるアレルギー診療の連携体制の構築に取り組んでいるところです。

この度、熊本県アレルギー疾患医療連絡協議会の活動の一環として、アレルギー診療の向上のためにwebによる症例検討会を企画しました。今回のテーマは下記の通りです。

症例① 7歳 ナッツアレルギー：天草地域医療センター

症例② 6か月 卵アレルギー（アトピー性皮膚炎合併）：水俣市立総合医療センター

<症例提示（各10分）後、各症例についてレクチャーと意見交換の時間を設けております>

先生方が日常診療で遭遇する、ちょっと気になる症例、何科に相談したらいいのかお困りのケースなどを取り上げて、様々な視点で検討できる場の構築を目指しています。熊本ならではの「顔の見える関係性」を生かして、各科の先生方と連携させていただく機会となることを期待しております。

Webですので、遠方の先生も、子育て中の女性医師の方も、自宅から、またはスマートフォンからも参加可能です。

参加の詳細はこちらから：<https://sites.google.com/view/allergykumamoto>、ご確認ください。

のぞいていただだけでも大歓迎です。みなさまのご参加をお待ちしております。

熊本県アレルギー疾患医療連絡協議会 会長 中村公俊
(熊本大学大学院生命科学研究部 小児科学講座 教授)

- 「本会としての見解」として
毎回まとめスライドを作成し、
参加できなかった先生にもメールにて
資料を配布

第6回 熊本アレルギー症例検討会 「特異的IgE抗体検査 いつ、だれに、なにをしらべる?～皮膚科編～」

<症例1> 獣肉アレルギー（選発型アナフィラキシー）

- 牛肉摂取後4時間（豚骨スープは1.5時間）後にアナフィラキシー
- 原因：マダニ咬傷
 - 唾液中のα-Gal含有タンパク質に対するIgE抗体産生
 - α-galを含む肉類の摂取にてアレルギー症状を起こす。
 - ✓ 鶏肉は食べられる（α-Galを含まないため）。
 - ✓ セツキシマブ（抗がん剤）、子持ちガレイにもアナフィラキシーを起こす可能性

<症例2> 豚肉アレルギー

- 蕁麻疹にて治療するも通常の抗アレルギー薬に治療反応が乏しい。
- 夕食後のタイミングに皮疹が出現する。
- 既往歴：2年前から頭部・体幹に掻破性湿疹ありステロイド外用治療中。
- 2ヶ月前に喘息発作あり、PSL短期間投与。
- 非特異的IgE 528 IU/ml
- MAST36アレルゲン特異的IgE抗体検査
Class3 コナヒョウヒダニ、スギ、豚肉
- 豚肉特異的IgE-Immuno CAP® class 3
- 診断：Pork-cat syndrome
- ネコ皮膚屑、毛、糞尿中の血清アルブミン（Fel d 2）に経気道感作
- → 交叉反応性を有するブタ血清アルブミン（Sus s1）にアレルギー反応を起こす。
- 食物除去で症状軽快した後、少量ずつ摂取開始している。

<獣肉アレルギーの診断>

Type of meat allergy	History	SPT	IGF	Challenge
Primary meat sensitivity in childhood	Immediate reactions to meat often with pre-existing sensitivity to cow's milk	Milk and relevant meat	Milk and meat	Graded meat challenges. In cases where doubt remains
Pork-Cat Syndrome	Reactions to pork within 1 h. In some cases with additional reactions to beef and in most cases pre-existing sensitization to cats	Cat, dog, and pork	Cat, dog, and cat albumin	Graded challenge tests may be necessary in some cases where diagnosis remains unclear
Delayed Anaphylaxis to Pork Meats in the Alpha-Gal syndrome	Urticaria and/or anaphylaxis starting 3-6 h after eating beef	Beef, lamb, pork, and cow's milk	Beef, lamb, pork, and cow's milk	Challenge tests have been carried out in experimental protocols. They may be necessary in some cases where diagnosis remains unclear. Co-factors may need to be included to elicit an clinically overt reactions

アレルギー

児ネット

<特異的IgE抗体検査の方法は? >

①MAST? ②View 36 ③ Immuno CAP どれがいい?

- MAST®とView 36®は一度に多項目のアレルゲンが測定可能。
- 長所：スクリーニングに利用できる。
成人の特発性蕁麻疹では陽性になることが少ない。
→ 全て陰性だとFAの不安を払拭しやすい（皮膚科医より）
- 短所：IgE抗体の検出力は③Immuno CAP®に劣る。
本来目的としていないアレルゲンが陽性を示すことがある。
→ 未摂取or食べられた食品にも擬陽性を示した場合、不要除去食が開始されることも…。

● 小児のMAST/Viewにはご配慮を ●

- 特異的IgE抗体検査は擬陽性も多いです。
- 小児では未摂取の食品も多いため、IgE陽性だと、自己判断や保護者の不安による除去食が開始される可能性が危惧されます。
- 除去食の解除にあたり、「食べられる」ことを証明できる臨床検査はいまのところありません。
- 「検査陽性」に対するフォローをお願いします。

③アレルギー疾患に対する情報提供

1. 熊本アレルギー疾患連絡協議会メーリングリストの作成

- 会員数 18名（その他管理者1名、非登録者1名）
- 症例検討会、会議等のお知らせに利用

2. 公式twitter

- 災害時の通信手段としてメーリングリストとリンクし、情報収集・周知に利用予定



3. 研修会への講師派遣

- 食物アレルギー対応についての教育関係者からの要望が多い

テーマ	内容	参加数
小児の食物アレルギー	阿蘇市 食物アレルギー児の給食対応	24名
小児の食物アレルギー	県保育協議会主催 研修会 食物アレルギー	166名
小児の食物アレルギー	熊本市内 保育園合同研修 食物アレルギー児対応	82名
小児の食物アレルギー	県栄養士会主催 研修会	31名

④アレルギー疾患に係る診断等支援

1. 地方中核病院へのアレルギー診療支援

- iPadを配布し、webにて拠点（連携）病院の専門医が、地方中核病院に勤務する医師の診療を支援している。
 - ✓ 診療相談
 - ✓ 地域の医師を通じて、受診した外来患者と専門医を結ぶことも可能となった。

診療科	支援中の病院	相談数	相談内容
呼吸器内科	阿蘇医療センター 天草中央総合病院 人吉医療センター 水俣市立総合医療センター 公立玉名中央病院 熊本地域医療センター	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACOコントロールについて使用薬剤や形態等の相談 ・ 難治性喘息に対する治療方針
皮膚科	公立玉名中央病院 熊本総合病院 大牟田天領病院	-	
耳鼻科	熊本総合病院 熊本労災病院	-	
眼科	水俣市立総合医療センター 人吉医療センター	-	
小児科	水俣総合医療センター 天草地域医療センター	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ アトピー性皮膚炎の治療 ・ 経口負荷試験の相談（負荷量、適応、検査時期） ・ 特異的IgEが利用できない食物抗原の診断について

2. 女性医師を対象としたアレルギー診療の啓発 ＜食物アレルギー入門講座＞

- 少人数でのディスカッション形式による症例を通じた勉強会(全3回)
- 食物アレルギー診療ガイドライン（日本小児アレルギー学会）を配布、教材として利用。
- webを用い、自宅からの参加も可能とした。
 - ✓ 診断（1/20予定）、検査（2月）、フォロー（3月）
 - ✓ 実臨床での疑問点も収集
 - ✓ 8名（小児科、皮膚科）が応募

タイパシティ企画
「食物アレルギー入門講座」のお誘い

熊本大学病院は、令和2年度アレルギー診療連携拠点病院として事業に採択されました。本事業は、地方におけるアレルギー診療に関する知識の普及と医師の研修を目的としています。

この度「食物アレルギー入門講座（仮）」を開催し、皆さま、特に女性医師を対象とした勉強会を開催しました。

食物アレルギーは、患者が理解を深める機会が少ないことも、診療できる医師が少なく、その中心の場が小児科の科に偏っているのが、「正しい診断・治療」が受けられず、苦しんでいる患者さんが多いのが現状です。

貴院に多く訪れ、実臨床の知識を得るため、女性医師、特に子育て中の先生には、ご自身の経験や疑問、ご自身の疑問を共有して考えます。

「専門医を目指したい」「1/20診療をどうするか？」など先生も大歓迎です。ぜひ勉強していきましょう。

先生方のご参加を歓迎いたします。

開催予定：2021年1月～3月に3回（月1回の予定）
開催方法：Zoomによるオンライン開催
3月3日：熊本大学アレルギー学会 食物アレルギー診療ガイドライン2016年
（詳細やご不明な点には随時お問い合わせください）
応募方法：下記に必要事項を記入し、当事務局までメールでお送りください。
（応募者多数の場合は抽籤させていただきます。）

令和2年度熊本県アレルギー診療連携拠点病院として事業実施機関
熊本市中央区1-1-13
熊本大学大学院生命科学研究部小児科診療科
096-379-3333（直通）
kumamoto@kumamoto-u.ac.jp